

# 3. 3つの観点から見るシャンプー分野の動向

シャンプー分野の動向は、①シャンプー頻度、②シャンプーに対するニーズ、③シャンプー商品の価格帯変動要素 の3つの観点で以下のように整理できる。

## ①シャンプー頻度

1970年ごろは  
週3回

1990年代には  
週5回半ば

現在は週6回を超え、ほぼ毎日洗うようになっている

1970年頃と比べて2倍の頻度になっているが、これ以上シャンプーの使用量が増えることはないと考えられる。

## ②シャンプーに対するニーズ

シャンプー習慣が始まった頃は、「清潔」に洗淨することが主目的であった

洗髪回数が増えるにしたがって、「マイルド」性が求められるようになった

おしゃれ習慣が進むと「髪ダメージ」を気にし、「ビューティケア」が好まれるようになった

近年では「スカルプケア」や「アンチエイジング」など、ニーズが多様化している。

## ③シャンプー商品の価格帯変動要素

横並び、価格競争の時代

プレミアムシャンプー(アジェンス、TSUBAKI等)の登場

環境問題への関心の高まりにより、詰め替え商品へのシフトが加速。詰め替え用のダウンサイジングも見られる。

目的別、パーソナルユースなど、シャンプーの多様化(スカルプ、オーガニック等)

低価格

高価格化

単価の下落

高価格化